

# 介護老人保健施設オアシス 21

**症 例 概 要**      利用者:80代 女性      要介護 4

病名:糖尿病、高血圧症、アルツハイマー型認知症

経過:在宅生活をするうえで、訪問看護サービスが必要にもかかわらず、ご主人の都合で頑なに拒否されていた方。90代の夫の介護力低下で内服管理不良となり、糖尿病の悪化、高血圧で緊急でオアシス 21 を利用した際、ご主人との信頼関係構築に重点を置き、そこから定期的な短期入所を経て、訪問看護サービスに繋げることで、高齢者 2 人暮らしの健康を支えた症例

## 内 容

---

もともと、オアシスの通所リハビリテーションを利用されていた方ですが、令和 3 年 1 月、90 代の夫の介護力低下で内服管理不良となり、糖尿病の悪化、高血圧でオアシスへ緊急入所となりました。

この方は、日常生活で在宅介護(特に訪問看護)が必要なにもかかわらず、ご主人の都合(金銭面)で通所リハ以外のサービスを頑なに拒まれ続けていた方になります。

利用者ご本人は一時ご自身で着替えることもできなくなりました。

奥様自身をご主人に下着交換をしてもらうことを拒んでおり、そのこともオアシスの短期入所を利用した理由の一つとなりました。

約 2 ヶ月の療養と薬剤の調整で体調も戻りましたが、今後も訪問看護の利用無しではご自宅での体調管理が出来ないことから、ケアマネ、相談員、看護師から何度も説得。病状の変化と訪問看護を利用することで、ご夫婦 2 人で健康に過ごせることなどを説明し続けました。

また、入所中は毎日のご主人に奥様の様子を伝えることで、徐々にご主人との信頼関係が構築。しかし、その時は訪問看護には繋がりませんでした。

しかし一度は短期入所から自宅に帰られましたが、ご主人の趣味で外泊するときだけ、奥様のオアシス短期入所利用に繋がるようになりました。

その際にも、奥様の様子をご主人に細かくお伝えし、訪問看護の必要性を訴え続けることで、3 月に自宅に戻られた際は訪問看護を利用していただくことに成功。

その後も通所リハを利用すると同時に、ご主人から「妻にオアシスで美味しいご飯を食べさせてほしい」と療養と健康管理を目的に定期的な短期入所も利用していただけることになりました。先日はご主人より「皆さんのおかげで、自分も元気になりました」とのお言葉もいただいています。

今はご本人も新しい趣味「ネット手芸」に挑戦しティッシュボックスを完成させています。

キーパーソンのご主人との信頼関係を構築することで、利用者ご本人の健康管理が出来、生活の質も向上したことからキラキラ介護賞に推薦いたします。